

製品名: CYP3A7 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09668**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	50kDa

抗原情報

遺伝子名	CYP3A7
別名	CYP3A7; Cytochrome P450 3A7; CYP11A7; Cytochrome P450-HFLA
遺伝子 ID	1551.0
SwissProt ID	P24462
免疫原	抗血清はヒトシトクロム P450 3A7 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 231-280

背景

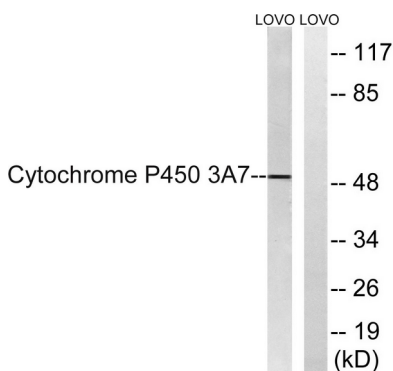
この遺伝子は、薬物代謝やコレステロール、ステロイド、その他の脂質の合成に関与するシトクロム P450 スーパーファミリー酵素の

一種をコードしています。この酵素は、テストステロンとデヒドロエピアンドロステロン 3 硫酸を水酸化します。デヒドロエピアンドロステロン 3 硫酸は、妊娠中のエストジオールの生成に関与します。この遺伝子は、染色体 7q21.1 上の関連遺伝子クラスターの一部です。この遺伝子と下流の CYP3A51P 擬似遺伝子の間で自然発生的なリードスルー転写が起こり、遺伝子 ID:100861540 で表されます。[RefSeq 提供、2015 年 1 月],触媒活性:RH + 還元型フラビントンパク質 + O(2) = ROH + 酸化型フラビントンパク質 + H(2)O., 補因子:ヘム基,機能:シトクロム P450 は、ヘムチオレートモノオキシゲナーゼ群です。肝ミクロソームにおいて、この酵素は NADPH 依存性電子伝達経路に関与しています。ステロイド、脂肪酸、生体異物など、構造的に無関係な様々な化合物を酸化します。誘導: P450 は、薬物、農薬、発がん物質など、様々な外来化合物によって肝臓やその他の組織で高レベルに誘導されることがあります。オンライン情報: CYP3A7 アレル,類似性: シトクロム P450 ファミリーに属します。,

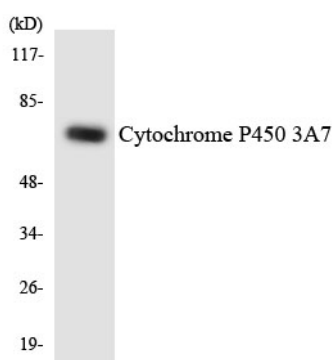
研究分野

ステロイドホルモンの生合成、リノール酸代謝、レチノール代謝、シトクロム P450 による異物代謝、薬物代謝、薬物代謝

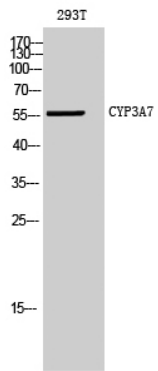
画像データ



シトクロム P450 3A7 抗体を用いた LOVO 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



シトクロム P450 3A7 抗体を使用した K562 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



1: 500 に希釈した CYP3A7 ポリクローナル抗体を用いた 293T 細胞のウェスタンブロット解析